

“市民による市民のための映像祭”「東京ビデオフェスティバル2022」

入賞作品として「TVF2022 アワード」(38 作品) を決定

- 応募総数は110作品 — 11歳の小学生から92歳のシニアまで幅広い世代が応募 —
- 入賞は10～20代の若い世代から最多19作品、60代以上のシニア世代からも12作品
- 社会問題を歴史・現代視点から捉える作品、地域や自分をテーマにした作品が入賞
- 入賞者・ビデオファンが集う「TVF2022 フォーラム」をオンライン形式で開催(3/20(日))
～「ビデオ大賞」(1作品)を審査委員が決定・発表する「公開審査会」もライブ配信～

特定非営利活動(NPO)法人「市民がつくるTVF」(代表理事:小林はくどう)が主催する、今年で13回目を迎えた“市民による市民のための映像祭”「東京ビデオフェスティバル2022」(TVF2022)には、前回より35作品増となる110作品(国内:108作品/海外:2作品)が寄せられ、このたび、入賞作品となる「TVF2022アワード」として38作品を決定しました。入賞38作品は、今回を象徴する作品に贈られる「ビデオ大賞」(1作品)へのノミネート作品となります。「ビデオ大賞」は審査委員による「公開審査会」(後述)にて決定・発表します。

入賞者とビデオファンが集う、TVF恒例の一大イベント「TVF2022 フォーラム」は、来る2022年3月20日(日)に開催。なお、現在の社会情勢を鑑み、前回に引き続き、今回もオンライン配信(Zoom形式)による実施となります。

「TVF2022 フォーラム」では、「特別賞」(TVFジャーナリズム賞、市民賞)と「ビデオ大賞」の発表、さらに入賞者や審査委員、視聴者のどなたでも自由に参加できるトークを予定。「TVFジャーナリズム賞」の発表に際しては、専任審査委員によるトークも実施します。そして、審査委員が「ビデオ大賞」を審査・決定・発表する「公開審査会」もライブで配信します。

また前回に引き続き、当法人の公式ホームページにて3月12日(土)より、「TVF2022アワード」に選ばれた38作品を題材に入賞者と審査委員が映像制作について語り合った「セッション」の収録映像を公開します(Web配信)。「セッション」は入賞作品の内容に応じて「地域・社会(歴史)」「地域・社会(現代)」「地域・コミュニティー」「自分を見つめる」の4つのテーマを設定し、4部構成を予定しています。

■「TVF2022 フォーラム」の概要(予定)

[日時] 2022年3月20日(日) 15:00～

[主な内容] 「特別賞」の発表、「ビデオ大賞」の公開審査会と発表、自由トーク

[開催形式] オンラインによるライブ配信(Zoom形式)

[視聴方法] 当法人の公式ホームページにてお知らせします(3月上旬予定)

■「ビデオ大賞」「特別賞」の決定・発表

- ・「ビデオ大賞」の決定・発表:「TVF2022 フォーラム」の審査委員による「公開審査会」にて。
- ・「特別賞」(TVFジャーナリズム賞、市民賞)の発表:「TVF2022 フォーラム」にて。

「東京ビデオフェスティバル 2022」応募作品・応募者の概要

1. 応募総数

- ・ 応募総数：110 作品（国内：108 作品／海外：2 作品）。
- ・ * 前回：75 作品（国内：71 作品／海外：4 作品）。

2. 応募世代

11 歳の小学生から 92 歳のシニア層まで、幅広い世代が応募。

3. 世代別傾向

- ・ 高校生や大学生を中心とする 20 代までの若い世代から約半数となる 62 作品（全体の約 56%）。
- ・ 30～50 代のミドルエイジから 9 作品（同 約 8%）。
- ・ 60 代以上のシニア世代から 39 作品（同 約 36%）。

4. ジャンル別傾向

- ・ ドキュメンタリーが最も多く 84 作品が寄せられ、全体の約 76%。
- ・ その他、ドラマ 19 作品（同 約 17%）、CG／アニメーション／アート 7 作品（同 約 6%）。

「東京ビデオフェスティバル 2022」入賞作品・入賞者の傾向

1. 10～20 代の若い世代から最も多い 19 作品が入賞

今回は、10～20 代の若い世代から最多となる 19 作品が入賞となり、前回（5 作品）を大きく上回りました。また、60 代以上のシニア世代は 12 作品、30～50 代のミドルエイジから 5 作品がそれぞれ入賞しています。

2. まさに“ドキュメンタリーの TVF”、ドキュメンタリーから 29 作品が入賞

今回も、まさに“ドキュメンタリーの TVF”となりました。応募作品全体の約 8 割を占め、秀作・良作ぞろいだったドキュメンタリー作品から 29 作品が入賞。他のジャンルでは、「ドラマ」から 4 作品、「アニメーション」から 3 作品「アート」から 2 作品、が入賞しています。

3. 多彩なテーマ／視点の入賞作品群

1) 社会問題について、過去の歴史、あるいは現代の視点から捉えた作品

TVF には、地域から国の規模に至る社会問題をテーマした作品が多く寄せられます。今回は、そうした社会問題について、戦争など歴史の視点から伝える作品、また私たちの生活に大きな影響を与えた新型コロナウイルス、フードロスや性的マイノリティーの問題などを現代の視点で捉えた 18 作品が入賞しています。（過去の視点：7 作品、現在の視点：11 作品）

2) 地域やコミュニティーをテーマに取り上げた入賞作品

TVF には、身近な地域の伝統や文化、自然や環境等に目を向け、丹念な取材を経て独自の視点から問題提起する作品、こだわりをもって粘り強く、丁寧にビデオカメラを向け続けた作品なども多く寄せられます。今回は、地域やコミュニティーをテーマに取り上げた 10 作品が入賞しています。

3) 自分を見つめた入賞作品

TVF には、映像を通じて自分自身について語る作品も多く寄せられます。今回は、“自分”をテーマにしながら、ドラマ仕立てにする、アート・アニメーションの手法を用いるなど、表現方法や伝え方にチャレンジした作品が多く入賞しています。

■「TVF2022 フォーラム」プログラム（予定）

●2022年3月20日(日)／15:00～18:00 ＊オンライン配信

〈進行〉

- ・15:00～16:00 開会宣言、主催挨拶
「特別賞」（「市民賞」・「TVF ジャーナリズム賞」）の発表、
「TVF ジャーナリズム賞」の専任審査委員によるトーク
- ・16:00～17:30 公開審査会、「ビデオ大賞」決定、上映
- ・17:30～18:00 自由トーク
- ・18:00 閉会

■入賞作品の公開（Web 配信）

- ・当法人ホームページにて入賞した38作品を公開中（Web 配信）

当法人ホームページにて、入賞38作品の映像と作品解説を公開中です。

※今回の全応募作品も合わせて公開しています。

- ・「東京ビデオフェスティバル」公式ホームページ（NPO ホームページ）URL

URL <http://tvf2010.org/>

■「東京ビデオフェスティバル」審査委員（50音順・敬称略）

小林 はくどう（ビデオ作家・成安造形大学 名誉教授）

佐藤 博昭（ビデオ作家・武蔵大学 講師）

津野 敬子（ビデオ作家・DCTV 共同代表）

村山匡一郎（映画評論家）

（アドバイザー）

椎名 誠（作家）

羽仁 進（映画監督）

■「TVF ジャーナリズム賞」専任審査委員（敬称略）

神保 哲生（ビデオジャーナリスト）

筑紫 ゆうな（切り絵作家・旧「筑紫哲也賞」常任選考員）

長野 智子（キャスター）

下村 健一（市民メディアアドバイザー・白鷗大学 特任教授）

■各賞の選出について

- ・「ビデオ大賞」

「TVF2022 アワード」の中から今回を象徴する作品として選出されます。

- ・「TVF2022 アワード」

「入賞」に位置づけられる作品。全応募作品から選出されます。

- ・「TVF ジャーナリズム賞」

特別賞。「TVF2022 アワード」受賞作品の中から、同賞の専任審査委員により、ジャーナリスティックな視点に特に優れた報道系作品を選出します。

- ・「市民賞」

特別賞。全応募作品の中から NPO サポーター会員、および「TVF2022」の作品応募者の審査投票により選出されます。

<NPO 法人 市民がつくる TVF について>

NPO 法人 市民がつくる TVF は、31 年間の歴史を持つ国際的な映像祭「東京ビデオフェスティバル」(TVF/日本ビクター主催・2009 年 3 月閉幕)の精神を継承し、市民有志が集まって結成した団体です(設立:2009 年 11 月)。ビデオ作品の制作や発表機会を通じて、映像によるコミュニケーションの活性化を図る活動を行っています。

<東京ビデオフェスティバルとは>

「東京ビデオフェスティバル」は、ビデオメッセージの伝達と表現力の向上を目的に 1978 年以来通算 44 回継続開催となる映像祭です。当 NPO の主催となって今年で 12 回目を迎えます。

本件に関する報道関係窓口

特定非営利活動法人 市民がつくる TVF 事務局 問い合わせ窓口

E-mail : npotvinfo@gmail.com

TEL : 070-4150-2167

FAX : 042-670-7085

*** 記事中の読者様の問い合わせ先も上記でお願いいたします。**

＜「TVF2022 アワード」(38 作品) 一覧＞

NO	作品名	作者名	年齢	作品時間	国/都道府県
1	新型コロナウイルス ～惑う札幌の人々～	北星学園大学 阪井ゼミ	—	18:20	北海道
2	よみがえった文化の拠点 ～市民パワーで10周年～	有沢 準一	84	19:59	北海道
3	足利の空と山に萌える	衛府自衛	56	14:18	栃木県
4	男体仙人の遺言	石川 勝	67	20:00	栃木県
5	4本指のピースサイン	江上 らな・小塩 巴菜・古屋 蓮 (上智大学 水島ゼミ)	—	14:27	東京都
6	I am as I am	南崎 美玖 (上智大学)	21	18:46	東京都
7	或る信仰	小川 旭	74	15:05	東京都
8	結核と闘ったまち・清瀬	森 ひかる (中央大学 FLP 松野ゼミ)	22	14:19	東京都
9	コロナとの闘い	舟橋 栄子	82	12:48	東京都
10	知っていますかあの戦争のこと 品川は空襲で焼け野原になった ～小島義一さんの体験画を見て～	鈴木 賢士	89	20:00	東京都
11	曇天五輪	村上 真惟・大澤 知世 (上智大学 水島ゼミ)	20	14:43	東京都
12	引越し大作戦	金子 喜代子	82	17:27	東京都
13	僕と彼女はボタンのかけ違いを いつもしている	堀井 彩	53	19:55	東京都
14	ボクはケーキが食べられない	菅野 吏紗 (上智大学 水島ゼミ)	21	19:16	東京都
15	螢火の身ごもり	川上 喜朗	28	9:59	東京都
16	無言館と繋ぐ未来	下村 えりか (中央大学 七沢ゼミ)	22	13:56	東京都
17	和服を着てみたら	京井 史華・小林 風輝・藤 薫子 (上智大学 水島ゼミ)	—	12:09	東京都
18	自分らしく生きる	三田村 帆夏・十時 伶緒・蜂谷来未 (専修大学 放送学ゼミ)	—	18:49	神奈川県
19	「ともに。」	佐藤 萌花・林田 侑未 (専修大学 放送学ゼミ)	—	16:07	神奈川県

NO	作品名	作者名	年齢	作品時間	国/都道府県
20	人間は自分の首を絞めてしまわないか	大隅 楠夫	78	10:00	神奈川県
21	フードロスの現状と未来	大石 茜・峯澤 妃奈里・ 小泉 保乃佳・潮田 翔大 (桜美林大学 塚本ゼミ)	—	14:42	神奈川県
22	ホシノウミ	ARTLiVE (神奈川県立相模原弥栄高等学校)	—	19:43	神奈川県
23	赤字垂れ流しの静岡空港を廃港に！	佐野 雅之	65	19:20	静岡県
24	キミとのキョリを	桜丘高等学校 放送部 ドラマ班	—	20:00	三重県
25	コロナの時代 ～僕らの卒業式～	桜丘高等学校 放送部 テレビドキュメント班	—	19:45	三重県
26	ANIMA	Mo Qian (成安造形大学)	32	5:36	滋賀県
27	Inside	Inside	21	7:42	兵庫県
28	関西学院大学混声合唱団エゴラド ～コロナ禍の軌跡～	関西学院大学 総合政策学部 メディア情報学科	—	14:05	兵庫県
29	ガンチョウとター公	根井 隆成・鈴木 美有 (関西大学総合情報学部 松本章伸実習)	21	19:55	兵庫県
30	大切なもの、そしてもう一度	和又 大基 (関西大学総合情報学部 松本章伸実習)	21	16:35	兵庫県
31	僕とおじいちゃん ～里山に生きる動物たち～	谷口 正治	71	7:00	兵庫県
32	黒い雨から 76 年 短命村と呼ばれた里から	西野 真李花・奥原 芽衣子・ 梶岡尚大 (広島経済大学)	—	19:59	広島県
33	マジメのすゝめ	広島市立牛田中学校 PC 放送部	—	9:10	広島県
34	野球大好き 笑理ちゃん	大野 進二	—	16:39	山口県
35	小さな花壇の物語	島田 徳子	80	5:55	福岡県
36	なんちょうなんなん	白川 東一	47	3:03	福岡県
37	Waiting for Green	Video Sonic #3	40	7:14	ドイツ
38	SIGN	Robert Cahen	76	10:35	フランス

注)・作者名敬称略。国内・海外の順で記載。また国内は北から都道府県順で記載。同じ国/都道府県は作品名の 50 音順 (英数字優先) で記載。